

伝承にまつわるポイントを 訪れてみよう!



唐船が淵

現在の木部町から新町の猪名川のほとり。碑が立っています。

行基開山。縁起では、呉織・穴織が携えてきた薬師如来像が神託により出現し、本尊として安置されたと伝えられます。

壽命寺



織った布を掛けて干した松があったといえます。現在は記念碑があります。

絹掛けの松

伊居太神社



歴史民俗資料館

池田の歴史や文化を多彩な資料で紹介しています。

開館: 午前10時～午後6時
休館: 月・火曜日・祝日(火曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始、展示替え期間
入館: 無料 ☎ 751・3019

市内には、伝承に出てくる場所がたくさんあります



衣被きの碑

伝承を表現したモニュメント。

図書館(休館中)横です!

星の御門 (星の宮)



二人の織姫が機を織った場所といわれます。

呉服神社



染殿井

水をくみ、色を染めた井戸があったとされます。江戸時代初期にはすでにありました。

古代の池田を想像しながら歩いてみませんか?



第3代オリヒメ姉妹・クレハトリ (姉役)



第3代オリヒメ姉妹・アヤハトリ (妹役)

みなさんの心の中に、まちの伝承や歴史が息づいてくれたら

この伝承は、物語性を持って今日まで継承されてきたという点が特徴的。ただ機織りの神様が神社の祭神であるというだけではなく、市域に関わりのある場所がいくつも伝わるなど、ストーリーとして非常に面白く展開されているのが興味深いところだ。

伝承や歴史というテーマは、なまもののように感じるかもしれませんが、現在暮らしているまちには多くの先人たちの営みの上に成り立ち、受け継がれてきたと考えると親しみを覚えるのではないだろうか。自分たちのまちの伝承や歴史を知り、ふるさと池田への思いを深めてもらえると思っています。

昨秋の特別展は、いろいろなところで注目を集め、諸説あふれる「クレハトリ・アヤハトリ伝承」を市制施行80周年を迎えるに先立ちあらためて見てみようとの思いから開催しました。



歴史民俗資料館
館長・田中 万里子

池田のいまを未来へ伝えよう

池田市制施行 80周年

昭和14(1939)年4月29日、池田市は誕生しました。翌年に制定された市章は、「クレハトリ・アヤハトリ伝承」を題材に井桁と糸巻きの形がデザインされ、長い歴史を背景に持つまちであることが伝わります。

池田市誕生80周年にあたる今年は、さまざまな企画が予定され、新たな歴史への一歩を踏み出します。詳細は市ホームページなどでお知らせしますのでお楽しみに!

▶問い合わせは空港・観光課 ☎754・6244

80周年に向けて 池田市長 倉田 薫



分権制度を立ち上げて新たな発展に向けて、市域を二つのテーマパークに見立て、各地域の特色を生かした活力ある中長期的なまちづくりの展望を示す「池田のまち みんなままとめてテーマパーク構想」を策定しました。

今年はこのテーマパーク構想に基づき、ウオンバットまぶく・インスタントラーメンなど本市が誇る地域資源のPRや、池田城跡公園を基点とした忍者集団による観光客おもてなしの取り組みなど、80周年に向けての気運を高めて参る所存でございます。

結びに、本市のまちづくりの原点である「小さくとも世界に誇れる池田」をスローガンに、未来へと羽ばたいていくよう、これからも市民や関係者の皆さまのお力をお借りしながら、共に歩んで参りたいと思います。



▲市制施行時の池田市庁舎 (昭和14年)



▲池田駅前国道176号 (昭和36年)



▲ローンセストン市と姉妹都市提携 (昭和40年)



▲大阪国際空港 (昭和43年)



▲池田駅前 (昭和47年)



▲蘇州市と友好都市提携 (昭和56年)



▲市制施行70周年式典 (平成21年)



▲ほそごう学園開校 (平成27年)



▲新たなウオンバット来園 (平成29年)

応募待ってるでござる!



80周年記念ロゴを募集!!!!!!

池田市制施行80周年記念事業の「池田市らしさ」を表現した親しみやすいロゴマークのデザインを公募します。採用者には20万円と記念品が、佳作(最高2点選定)には3万円が贈られます。

■内容: 応募者が創作した未発表のオリジナル作品とし、第三者の著作権、商標権などの権利を侵害しない作品、他の作品(商標含む)と同一または類似していない作品で、「市制施行80周年」であることを分かりやすく伝えるデザインのロゴ

■申し込み先= 2月15日(金)(必着)までに空港・観光課

※結果は3月以降に市ホームページで発表。受賞作品は著作権を無償で池田市に譲渡し、使用権は池田市に帰属します。詳細は1月以降に市ホームページをご覧ください。